

# たんぽぽだより

2016年6月号



日に日に暑くなり、夏がどんどん近づいてきていますね。

たんぽぽでは、たくさんのお野菜を育てています。きゅうりを先日収穫し、その日に給食でいただきました。トマトもたくさん出来てきて「早く赤くならないかなー」と楽しみにしています。

さて、6月はいのちについて考えるつきです。「いのちについて話をする」と言うと大げさに聞こえますが、一番身近な食べると言うことについて話してみませんか？

私たちはいのちを頂いて生きています。

食材そのものの命だけではなく、それを育てた人の手間・調理してくれた人の手間・それを買うために働いてくれている保護者の皆様の手間あらゆるすべての人たちの手間＝いのちと言うことです。

たんぽぽではいただきますの前に『いのちをありがとうございます』といいます。すべてのいのちに感謝できるように、あえて短い言葉にしています。

この言葉の意味について家族で話していただけたら嬉しいです。

子どものいのちを大事にする方法は、周りのみんなが、しっかりと話を聞くだけです。聞くだけ！聞いてもらうだけで『受け入れられている』と感じます。ただし、後ろ向いて返事するだけじゃ子どもは聞いてくれているとは感じないようです。体から子どものほうを向かないと、子どもは納得してくれないですよ。

よく「こっち見て」とか『ちょっと聞いて』とか話してくるでしょう？その時には少しでもそっちを見てほしいのです。特に忙しいときとか話しかけてくるでしょ？そういう時は、“かまってくれ～”というサインなんですよ。そう思って接すると、かわいいな～と思いませんか？

時間にして1分もかからないので、子どもの方を向いて欲しいです。

それだけで「子どものいのちを大事に」しているんです。

お願いします。

たんぽぽ6がつの目標：

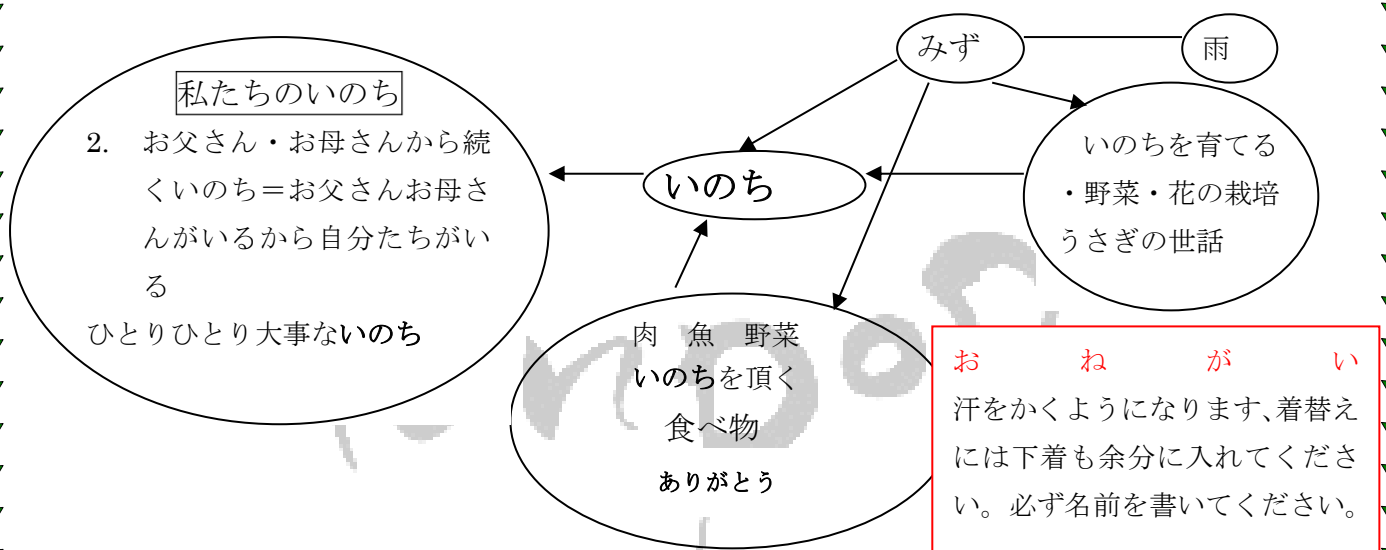
いのちをありがとう

ねらい： 雨の日ならではの自然の様子、生き物に興味を持つ。いのちを知る

保育サロン  
たんぽぽ

## 各年齢のねらい

- 0歳児：梅雨の季節を健康に過ごし天気の良い日は戸外や散歩に出かけ、自然に触れる
- 1歳児：保育者と一緒に好きな遊びをしたり、体を動かしたりして楽しく遊ぶ。
- 2歳児：梅雨期の健康、安全に気をつけながら、快適に生活できるようにする。
- 3歳児：梅雨期の自然に親しむ。
- 4歳児：友達と関わってあそびを展開し、工夫してあそぶことを楽しむ。  
梅雨期の自然や動植物に興味を持ち、見たり触れたりする。
- 5歳児：自分の考えや思いを出し合っあそぶなかで、友だちとのつながりを深める。  
梅雨期の自然や動植物に興味を持ち、おもしろさや不思議さに気づく。



## 6月の保育内容

- 0歳児（つぼみ）：保育者に見守られながら興味のある場所やおもちゃで遊ぶ
- 1歳児（もも）：こぼしながらも手づかみやスプーンフォークをもって食べようとする。簡単な身の回りのことを、自分でしようとする
- 2歳児（ゆり）：気温に応じて衣服の調節をし、汗が出たときは着替えることで気持ち良さを感じられるようにする  
遊び・友達関係）生活に必要な言葉がある程度分かり、したいこと、して欲しいことを言葉で表す。保育者や友だちと一緒に、見立て遊びを楽しむ。
- 3歳児（さくら）：梅雨期の身近な自然事象や生き物に触れる。
- 4・5歳児（すみれ）：・室内の温度や湿度に留意し、必要に応じて換気し風通しをよくする。  
ゆとりをもってじっくり聞いたり、話ができる時間をもつようにする。  
遊び・友達関係）友だちと一緒に、考えたり試したり工夫したりしながら遊ぶ楽しさを感じる。梅雨ならではの自然にふれ、興味・関心をもつ。